

函館市の地域学校協働活動について

令和8年5月27日(水)

函館市教育委員会学校教育部教育政策課

1

目次

- 1 地域学校協働活動とは？
- 2 地域コーディネーターの役割について
- 3 令和8年度 学校運営協議会の設置状況・
地域コーディネーター等の配置状況について
- 4 学校と教師の業務の3分類について

2

1 地域学校協働活動とは？

地域と学校が、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のこと。

活動内容は多種多様

登下校時の
見守り活動

キャリア
教育支援

ボランティア
活動への参画

など

3

2 地域コーディネーターの役割について

～地域と学校をつなぐ大切なパイプ役～

- 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案
- 学校や地域住民、企業・団体等の関係者との連絡・調整
- 地域ボランティアの募集・確保 など



4

3 令和8年度 学校運営協議会の設置状況・ 地域コーディネーター等の配置状況について

○学校運営協議会の設置 36協議会

〔 小学校38校・中学校18校・義務教育学校1校・
高等学校1校・幼稚園1園 〕

○地域コーディネーターの配置(30校 計19名)

○統括地域コーディネーターの配置(1名)

5

4 学校と教師の業務の3分類について

○学校以外が担うべき業務

○教師以外が積極的に参画すべき業務

○教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

6

令和8年度 函館市地域学校協働活動推進事業 地域コーディネーター 名簿

(令和8年4月1日現在)

配置校	所属・役職	氏 名
青柳中学校, 弥生小学校, 青柳小学校, あさひ小学校	地域包括支援センターあさひ センター長 (学校運営協議会委員)	四戸 悦未
港中学校, 港小学校	港小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	梅田 史恵
深堀中学校, 駒場小学校, 深堀小学校, 湯川小学校	地域包括支援センターゆのかわ 保健係長 (学校運営協議会委員)	京谷 佳子
五稜郭中学校, 万年橋小学校	北浜町会総務部長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	酒井 道子
北中学校, 北日吉小学校	北中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	駒野 圭史
恵山中学校, えさん小学校	えさん小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	三好 ひとみ
巴中学校	元的場中学校 PTA副会長 (学校運営協議会委員)	吉村 小織
桔梗中学校	桔梗中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	千山 毅
中部小学校	民生児童委員 (学校運営協議会委員)	中村 ひでの
北星小学校	北星小学校 PTA顧問 (学校運営協議会委員)	梶原 亜里沙
千代田小学校	千代田小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	阿久津 満希
大森浜小学校	大森浜小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	建部 勝自
中の沢小学校	中の沢小学校 PTA会長 (学校運営協議会委員)	間 有紀
昭和小学校	昭和小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	照井 千津
亀田小学校	亀田小学校 PTA会長 (学校運営協議会委員)	田中 真未
東山小学校	東山小学校 元PTA役員 (学校運営協議会委員)	松浪 あゆみ
桔梗小学校	桔梗小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	高田 知昂
南本通小学校, 本通中学校	南本通小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員) ※ 統括地域コーディネーター	神田 克実
市立函館高校	市立函館高校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	田中 慎一

令和8年度 計30校 19名 ※ 下線部は新規

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。

まず取り組めること・
取り組むべきことは何か、
話し合うことが大切です。



学校以外が担うべき業務

- 1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
- 2 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
- 3 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
- 4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
- 5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

- 6 調査・統計等への回答 | 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
- 7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 | 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
- 8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 | 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
- 9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理 | 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
- 10 校舎の開錠・施錠 | 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
- 11 児童生徒の休み時間における安全への配慮 | 地域住民等の支援や、輪番等を促進
- 12 校内清掃 | 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
- 13 部活動 | 部活動の地域展開・地域連携を推進

※ 専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

- 14 給食の時間における対応 | 食に関する指導については、栄養教諭等が対応
- 15 授業準備 | 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
- 16 学習評価や成績処理 | 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
- 17 学校行事の準備・運営 | 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
- 18 進路指導の準備 | 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
- 19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 専門スタッフとの協働等を促進

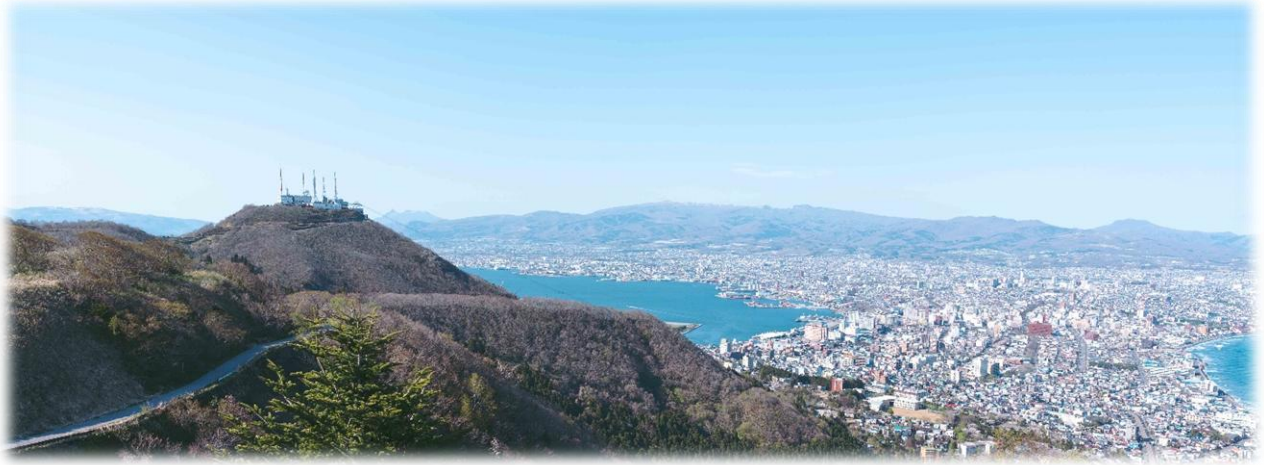


令和7年度（2025年度） 函館市のコミュニティ・スクールの取組 ～地域学校協働活動実践事例集～

函館市教育委員会学校教育政策課

令和8年（2026年）4月

実践事例集について



本市では、各地域において、保護者や地域の皆様とともに、学校運営協議会で協議した内容等をもとに、様々な地域学校協働活動が展開されています。

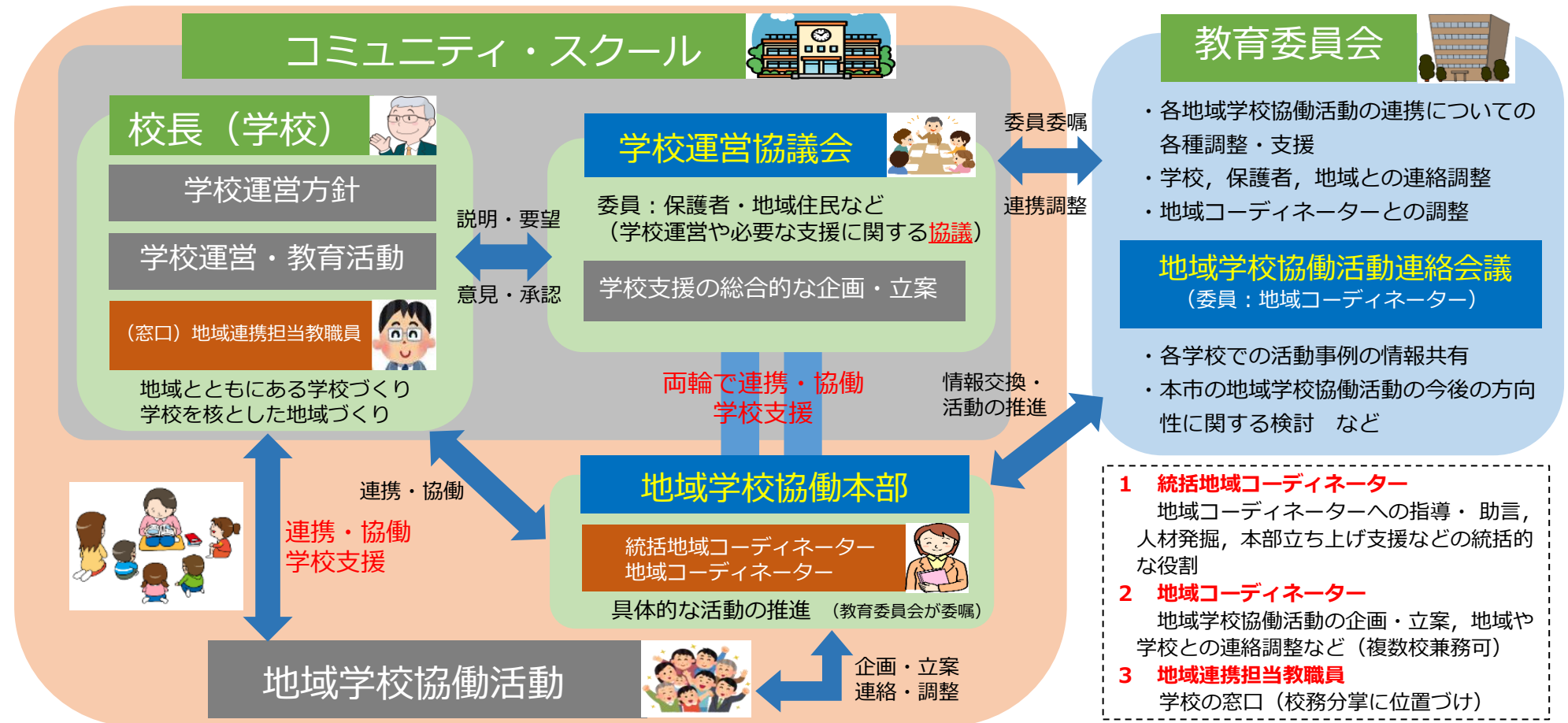
また、令和2年度（2020年度）から、地域と学校をつなぐパイプ役として地域コーディネーターを配置しており、当初は市立学校14校に計8名からはじまり、令和7年度（2025年度）は31校に計20名まで拡充し、さらなる地域学校協働活動の充実を図っています。

本事例集では、主に地域コーディネーターが関わった市立学校での活動を紹介しています。保護者や地域、学校関係者の皆様におかれましては、今後の活動にあたって、参考にいただければ幸いです。

「地域とともにある学校づくり」を目指して

～ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～

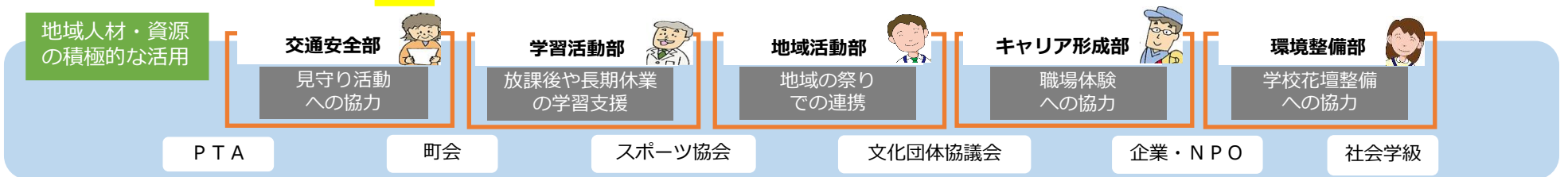
現時点での将来体系のイメージ図です。
(令和7年4月1日現在)



(令和7年4月現在：配置校31校、地域コーディネーター20名)

参画

～ (例) 各コミュニティ・スクールの取り組みの手法として ～



① 青柳小学校・青柳中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（町会バザー）

【活動】

「青柳町会 秋のチャリティバザー」

活動概要	▼青柳小学校児童と青柳中学校の生徒が、校区内にある青柳町会で実施されるチャリティバザーの前日準備や当日の運営にボランティアとして携わった。
活動のねらい	▼児童・生徒が地域の町会活動の手伝いを通して地域住民と交流を深め、協力して活動する経験を積みながら、地域の担い手としての自覚や責任感を育むことを目的とする。
活動の成果など	▼児童、生徒が地域の町会活動の手伝いを通じ、地域の幅広い年代の人々と交流を図ることで、自分たちが住む地域を知り、町会活動への興味や参加意欲の向上につながった。



バザーの準備をする様子

主催：青柳町会

1

活動日・場所

令和7年11月15日（土）、
16日（日） 青柳町会館

2

活動した子ども

青柳小児童 1名
青柳中学生 14名

3

地域住民等

青柳町会、大学生ボランティア、
包括支援センターあさひ 計22名

② 深堀小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（クラブ活動）

【活動】

深堀小学校地域協力隊

活動概要	▼深堀小学校地域協力隊が地域の方と楽しみながら交流できる「お楽しみ会（手品披露会）」を企画し、地域の方々から技術面などの指導をいただきながら準備し、会を運営した。
活動のねらい	▼児童が、自ら企画し運営するという経験をする中で達成感や自己肯定感を高めるとともに、地域住民との交流を通して、自分たちの住む地域に目を向けるきっかけを作り、郷土愛を育むことを目的とする。
活動の成果など	▼児童は、自分たちの活動が地域の方々に喜ばれ、認められる経験を通して、自信や自己有用感が高まり、地域活動への関心や自分の得意への気づきにつながった。



手品を披露している様子

主催：深堀小

1

活動日・場所

令和7年12月1日（月）
深堀小 図書館

2

活動した子ども

深堀小児童 21名

3

地域住民等

校区内4町会 計12名、
CS委員 3名、PTA 3名

③ 五稜郭中学校

学校支援活動（職業講話）

【活動】

企業をゲスト・ティーチャーにむかえた職業講話

活動概要	▼キャリア教育の一環として、多種多様な地域の企業13社をゲスト・ティーチャーに迎え、社会人にとって望ましい勤労観・職業観について講話を行なった。
活動のねらい	▼生徒たちが、中学生のうちから、自治的な活動や未来につながるキャリアを意識し、社会人にとって望ましい勤労観・職業観について身近な企業に携わる人たちから話を聞くことで、仕事のやりがいや達成感などを学ぶ。
活動の成果など	▼多種多様な企業から直接仕事について話を聞くことで、生徒たちの将来の職業選択の幅が広がり、地元企業への就職にも関心を持ってもらうことができた。



ゲスト・ティーチャーによる講話の様子

主催：五稜郭中 CS

1

活動日・場所

令和7年6月24日（火）
五稜郭中各教室

2

活動した子ども

五稜郭中1・2年生 347名

3

地域住民等

地域企業13社 計16名

④ 万年橋小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「秋祭り with 防災訓練」

活動概要	▼地域包括支援センターとその協力者で構成する「多世代交流スペースつながるトコロ」主催の多世代交流に万年橋小PTAや校区内の中学生等を運営ボランティアとしてマッチングし、防災をテーマとした地域の秋祭りを開催した。
活動のねらい	▼地域やPTAの担い手不足という課題を踏まえ、協力して活動する意識を育むとともに、協働による活動を通して顔の見える関係づくりを進めることを目的とする。
活動の成果など	▼地域やPTAの担い手不足が課題となる中、子どもたちが大人と共に考え、協力し、活動する大切さや、負担を分かち合う工夫、顔の見えるつながりの重要性を学ぶ機会となった。



秋祭りの様子

主催：多世代交流スペースつながるトコロ、PTA、包括支援センター、大学生等

1

活動日・場所

令和7年11月1日（土）
万年橋小学校体育館

2

活動した子ども

万年橋小児童 30名
五稜郭中生徒6名（ボランティア）

3

地域住民等

多世代交流スペースつながるトコロ、PTA、包括支援センター、大学生等

⑤ 巴中学校

学校支援活動（図書館ボランティア）

【活動】

地域ボランティアによる学校図書館の放課後運営

活動概要	▼学校図書館において学校司書が不在となる放課後でも貸出や返却、自習スペースの利用、図書の整備ができるよう、地域ボランティアが図書館を運営する。
活動のねらい	▼ボランティアが図書館の管理を担うことで、教職員の手を煩わせることなく生徒に放課後の自習スペースを提供し、また、教職員には授業準備や生徒のことに専念できる時間を創出することを目的とする。
活動の成果など	▼生徒は放課後の自習スペースを確保できたとともに、多くのボランティアが図書館運営に携わっていることを知り、感謝の気持ちが育まれたほか、学校司書を含めた教職員の業務の軽減につながった。



図書館ボランティアの様子

主催：巴中 CS

1 活動日・場所 通年 平日午後3時半から5時 巴中 図書館	2 利用対象の子ども 巴中全生徒 528名 ※放課後自習等に利用	3 地域住民等 図書館ボランティア 計13名
--------------------------------------	--	---------------------------

⑥ 大森浜小学校



学校支援活動（総合的な学習）

【活動】

大森浜海岸清掃

活動概要	▼4年生の総合的な学習の一環として、市環境部職員から環境保全に関する講義を受けた後、町会役員と協力しながら大森浜海岸の清掃活動に取り組んだ。
活動のねらい	▼地域環境について理解を深めるとともに、故郷をきれいにする活動を通して環境保全の大切さを学び、身近な環境問題への関心や意識の向上を図ることを目的とする。
活動の成果など	▼町会役員や地域包括支援センター職員と協力して奉仕活動に取り組み、地域貢献を実際に体験するとともに、身近な生活や社会との関わりを考えながらSDGsへの関心を広げる機会となった。



市環境部による講義を受講する様子

主催：大森浜小 CS

1 活動日・場所 令和7年6月10日（火） 大森浜小学校・大森浜海岸	2 活動した子ども 大森浜小児童 68名	3 地域住民等 包括支援センター6名、 町会15名
--	-------------------------	---------------------------------

⑦ 南本通小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（町会調べ）

【活動】

3年生総合的な学習「町会調べ」

活動概要	▼校区内にある南本通町会・本通中央町会・鍛冶町会・花園町会の役員の方をゲストティーチャーとして招き、地域の歴史や現在の様子、町会の取組みや抱えている課題についてインタビューを通して学んだ。
活動のねらい	▼自分の住む地域の町会について理解を深めるとともに、町会活動に携わる方々の思いや工夫を知り、学びを通して自分たちで何ができるのかを考えることを目的とする。
活動の成果など	▼町会の具体的な活動への理解が深まり、地域の暮らしを支えている存在への気付きにつながった。また、児童の地域への所属意識の高まりにより、地域への関心、郷土愛の醸成の一助となった。



町会へのインタビューの様子

主催：南本通小 CS 協働活動推進委員会

1

活動日・場所

令和8年1月20日（火）
南本通小 図書館

2

活動した子ども

南本通小3年生 19名

3

地域住民等

南本通町会・本通中央町会・鍛冶町会・花園町会 計9名

⑧ 本通中学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（調理実習補助）

【活動】

2年生 家庭科「調理実習サポート」

活動概要	▼2年生の家庭科「調理実習」で、地域・保護者・シルバー人材センターボランティアなどの人材を活用し、調理実習補助や見守りを行ってもらうことで、生徒が安全かつ円滑に調理に取り組める環境を整備した。
活動のねらい	▼実習の円滑な進行と見守りの充実による安全確保を図るとともに、地域ボランティアとの交流を通してコミュニケーションを図る機会の創出を目的とする。
活動の成果など	▼実習補助による見守りの充実で安全性が高まったとともに、生徒がサポートボランティアとの交流を通して感謝の気持ちや人のために活動することの大切さを学ぶ機会となった。



調理実習の様子

主催：本通中

1

活動日・場所

令和8年2月16日（月）、17日（火）、
19日（木）、26日（木）本通中家庭科室

2

活動した子ども

本通中2年生 160名

3

地域住民等

本中ボランティア 3名、地域住民 2名、
函館シルバー人材センターボランティア 5名

⑨ 昭和小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（見守り活動）

【活動】

町会と連携した「ラジオ体操」

活動概要	▼目印となるピンクバンダナを巻いた昭和小 CS による見守り隊が、夏休み中に昭和町会が主催するラジオ体操（全 6 日間）の運営補助等として参加する。
活動のねらい	▼昭和小 CS 見守り隊が、通常の登下校以外でも子どもたちを見守っていることを子どもたちや保護者へ周知するとともに、参加児童の保護者や町会員へ見守り隊への参加の促進を図ることを目的とする。
活動の成果など	▼昭和小 CS 見守り隊の存在を児童や保護者、町会員へ周知でき、加入促進を図れたほか、6 日間毎日顔を合わせることで多世代間の交流が生まれた。



ラジオ体操参加スタンプをもらう様子

主催：昭和小 CS

1

活動日・場所

令和 7 年 7 月 26 日（土）～
31 日（木）昭和小学校

2

活動した子ども

昭和小児童 約 20 名

3

地域住民等

児童の保護者・兄弟、町会
計 約 20 名

⑩ 駒場小学校

学校支援活動（ノーマリー教室）

【活動】

北海道函館聾学校との交流

活動概要	▼児童たちは、ノーマリー教室の一環として、校区内にある北海道函館聾学校の児童と交流を楽しみながら、聴覚障害や手話について学んだ。
活動のねらい	▼児童たちが、同世代の児童との交流を通し、音の聞こえ方やコミュニケーション方法の違いを知ることで、相互理解を深めつつ、共に生きる力を育てることを目的とする。
活動の成果など	▼一人ひとりの違いを大切にしながら友だちとして関わる意識が育ち、正しい理解や多様性への気付きが深まり、思いやりや共感力、共生社会を考える姿勢が高まった。



児童の交流の様子

主催：FK ネット

共催：地域包括支援センターゆのかわ

1

活動日・場所

令和 8 年 2 月 20 日（金）
北海道函館聾学校

2

活動した子ども

駒場小 4 年生 26 名
北海道函館聾学校児童 5 名

3

地域住民等

FK ネット関係者、
地域包括支援センターゆのかわ

⑪

千代田小学校

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「モルックくらぶ」

活動概要	▼児童館では児童を対象に、公園では地域住民を対象に、交流を深めながらモルックを楽しむ「モルックくらぶ」を月1回ずつ開催した。
活動のねらい	▼モルックを通して地域の幼児から大人までの多世代が交流する機会を設け、互いに関わり合いながら思いやりや協力の心を育み、豊かな人間性を育てることを目的とする。
活動の成果など	▼年齢を問わず楽しめるモルックを通して多世代間の交流が生まれ、継続して顔を合わせることで互いの理解が深まり、地域のつながりを感じる機会となった。



「モルックくらぶ」の様子

主催：千代田小 CS 応援隊

1

活動日・場所

毎月最終土曜日
五稜児童館、梁川公園

2

活動した子ども

千代田小児童、
近隣の幼稚園児

3

地域住民等

千代田小 CS 応援隊 3名

⑫

港中学校・港小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（避難訓練）

【活動】

「港地区合同避難訓練」

活動概要	▼港アカデミック・パッケージ・システムズ（MAPS）に基づき、港地区内の学校と地域教育に携わる幼稚園等の教育施設などの構成員とともに、避難方法を身に付けられるよう、訓練を行った。
活動のねらい	▼地域全体の防災意識の向上を図るとともに、みんなが災害時の援助側としての即戦力となれるよう、安全保持の能力と態度を育てることを目的とする。
活動の成果など	▼避難経路や避難方法を改めて確認することができたとともに、地域全体で訓練することで連携が深まり、ともに助け合いながら避難することで共助の精神が育まれた。



園児が避難する様子

主催：港中、港小中 CS

1

活動日・場所

令和7年9月1日（月）
港中学校内

2

活動した子ども

港中生徒 221名
亀田港保育園 32名

3

地域住民等

港小中 CS 委員、地域住民、
亀田港保育園教職員 計6名

⑬ 桔梗小学校・桔梗中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「桔梗地区つながるマルシェ」

活動概要	▼桔梗町会，包括支援センター，桔梗中校区コミュニティ・スクールが合同でマルシェを開催し，積極的に地域の魅力を発信することで，地域の活性化を図る。
活動のねらい	▼地域が一体となって，町会や福祉，青少年育成について，実践を通して理解し合うことにより，町全体の活性化を図るとともに，「地域の子どもは地域で育てる」という精神を養うことを目的としている。
活動の成果など	▼多世代にわたるイベントの運営や参加を通し，「つながるマルシェ」というタイトルのとおり地域の幅広い年代の人々との交流が生まれ，地域全体の理解と活性化へつながった。



餅まきの様子

主催：桔梗町会，包括支援センターよろこび，桔梗中CS合同実行委員会

1

活動日・場所

令和7年7月27日（日）
交流スペースよろこび

2

活動した子ども

桔梗中学生 26名
桔梗小児童 複数名

3

地域住民等

桔梗町会，
包括支援センターよろこび 他
参加者総数 199名

⑭ 中の沢小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（ラジオ体操）

【活動】

ラジオ体操 MAP の作成

活動概要	▼夏休みのラジオ体操について，校区内にある複数の町会がそれぞれで運営しているため，情報を集約した「ラジオ体操 MAP」を作成し，児童・保護者と共有した。
活動のねらい	▼ラジオ体操の運営が町会ごとにより異なることによる混乱が見られたことから，実施期間や実施場所を共有することで，児童が安心してラジオ体操に参加できるようにすることを目的とする。
活動の成果など	▼情報がまとめられたことで，児童のラジオ体操を混乱なく実施できたとともに，児童・保護者ともに，より安心してラジオ体操に参加することができるようになった。



ラジオ体操 MAP

主催：中の沢小 CS

1

活動日・場所

夏季休業中
令和7年7月25日（土）～8月24日（日）
中の沢小校区内公園等

2

活動した子ども

中の沢小児童 複数名

3

地域住民等

桔梗町会，桔梗北町会

⑮

湯川小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流会）

【活動】

認知症予防カフェ「ぽかぽかカフェ」

活動概要	▼校区内にある湯川三丁目町会で行っている認知症予防カフェ「ぽかぽかカフェ」に1年生が参加し、学校で練習した歌やダンスを披露したほか、児童自らが育てた朝顔の種をプレゼントするなどして高齢者と交流をした。
活動のねらい	▼児童が町会や地域の方々と交流することで、地域を知る機会を設けるとともに、自己の練習の成果を披露することで、児童の自己有用感を上げ、活動意欲につなげることを目的とする。
活動の成果など	▼児童たちは、ダンスや歌などの練習の成果を披露する機会となったほか、見ていた参加者たちに喜んでもらえたことで自信や達成感、自己有用感の高まりにつながったとともに、地域や町会に対する関心も高まった。



ダンスを発表する様子

主催：湯川小学校 CS

共催：湯川三丁目町会

函館市地域包括支援センターゆのかわ

1

活動日・場所

令和7年10月31日（金）
湯川三丁目町会

2

活動した子ども

湯川小1年生 28名

3

地域住民等

湯川三丁目町会 17名，
地域包括支援センターゆのかわ 2名

⑯

市立函館高校

学校支援活動（キャリア教育）

【活動】

社会人講話（1年生 総合的な探究の時間）

活動概要	▼1年生を対象に、地域で活躍する様々な職種の社会人を講師として招き、働くことの意義や社会貢献について講話を行った。
活動のねらい	▼高校入学間もない生徒が、地元で活躍する大人から、社会人としての生き方や考え方について直接講話を聴くことにより、学校が育てたい生徒像や育てたい力を養い、自身の将来のキャリアについて考えるきっかけを与えることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒は、講話を通して、講師の職業観や苦労を知り、校訓である「何を求める」の意味を具体的にイメージすることができた。



講話を聴く生徒たちの様子

主催：市立函館高校 探究部

1

活動日・場所

令和7年5月21日（水）
市立函館高校

2

活動した子ども

市立函館高校1年生 200名

3

地域住民等

地域企業 5名

17

恵山中学校

学校支援活動（体育祭）

【活動】

「ECS 体育祭」

活動概要	▼恵山中学校生徒が中心となって保護者や地域住民を交えた体育祭を運営し、体育祭を楽しみながら多世代交流を行い、地域と学校の親和性を深めた。
活動のねらい	▼生徒が運営に携わることで主体性と協調性を育むとともに、保護者や地域住民との交流を深め、地域と学校との一体感を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒が運営に携わったことで達成感や充実感を得られ、学校生活の活力となり、さらに、地域と連携が深められたことにより、地域の学校への親和性が高まり、協力を得やすくなった。



ECS 体育祭の様子

主催：恵山中 CS

1

活動日・場所

令和7年5月30日（金）
恵山中学校グラウンド

2

活動した子ども

恵山中全生徒 20名

3

地域住民等

保護者、地域住民等 計40名

18

えさん小学校

学校支援活動（クラブ活動）

【活動】

「恵山キッズバドミントンクラブ」

活動概要	▼学校と地域住民が連携し、小学校4年生から6年生を対象とした「恵山キッズバドミントンクラブ」を設立し、児童がスポーツに親しむ機会を設けた。
活動のねらい	▼小学生のうちからバドミントンに触れる機会を設け、基礎体力と技術の向上を図るとともに、中学校部活動への接続を意識しながら、学校・地域・保護者との協働の大切さを学ぶことを目的とする。
活動の成果など	▼小学生のうちからバドミントンに親しむことで中学校部活動への円滑な接続を図り、技術向上につながったとともに、地域の大人との交流を通して成長を支える体制づくりを進めることができた。



バドミントンの様子

主催：えさん小・恵山中 CS

1

活動日・場所

週1回程度（8月26日開始）
恵山総合体育館

2

活動した子ども

えさん小児童（4～6年）
計14名

3

地域住民等

えさん小・恵山中校長、コーチ、
恵山教育事務所長など 計6名

19 北星小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流会）

【活動】

「地域交流大会 in 北星小学校」

活動概要	▼カーリンコンによる地域交流が今年度で3回目となることから、運営関係者や参加者の範囲を拡大することで、地域住民と児童が交流する機会を増やす。
活動のねらい	▼カーリンコンを通して、地域住民との交流を図るとともに、異学年や大人とも対戦することで、挑戦する気持ちや相手を思いやる気持ちを養うことを目的とする。
活動の成果など	▼児童はカーリンコンを通して地域住民と交流することでコミュニケーション力を高めたとともに、地域の方々が日常生活を支えてくれていることを知り、相互理解を深めることができた。



カーリンコンの様子

主催：北星小 CS

1

活動日・場所

令和7年7月27日（日）
北星小 体育館

2

活動した子ども

北星小児童 10名

3

地域住民等

北星小 PTA、保護者、町会、
函館カーリンコン協会 他
計32名

20 北中学校

学校支援活動（キャリア教育）

【活動】

1年生 総合的な学習「ふるさと・キャリア学習」職業講話

活動概要	▼2年次に予定している総合的な学習（職業・職場体験学習）に先立ち、函館市で営まれている多様な職業について、各分野の講師を招いて仕事について知る機会を設ける。
活動のねらい	▼地域の方々の話を通して、ふるさとや職業への理解を深めるとともに、自分自身を見つめ直し、将来の生き方や社会の中での役割を考えるきっかけを創出することを目的とする。
活動の成果など	▼地元で活躍する社会人から仕事の目的や社会的責任について直接学び、生徒が自分の将来像と照らし合わせながら、働く上で大切なことへの理解を深めた。



地元飲食店経営者のよる講話の様子

主催：北中

1

活動日・場所

令和7年11月18日（火）
北中 教室等

2

活動した子ども

北中1年生 63名

3

地域住民等

ボランティア（講話者） 7名

②① 高丘小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（食育）

【活動】

「生き抜く力を育むための食育 そば打ち体験」

活動概要	▼さまざまな体験を通して食への理解を深め、健康的な食のあり方や食を共に楽しむ大切さを学ぶとともに、日本蕎麦など和食文化を受け継ぐ意識を育む。
活動のねらい	▼多様な体験活動を通して食への理解を深め、健康的な食生活や共に食べる喜びを学ぶとともに、日本の和食文化を大切に、受け継ぐ意識を育てることを目的とする。
活動の成果など	▼地域人材の協力のもと、そば打ち体験を通して日本の伝統文化や食の大切さへの理解を深めるとともに、食を介した多世代交流を図る貴重な機会となった。



そば打ち体験の様子

主催：高丘小 CS

1

活動日・場所

令和7年1月10日（土）
高丘町会館

2

活動した子ども

高丘小児童 5名
戸倉中学生 2名

3

地域住民等

高丘町会、高丘小校長
計8名

②② 亀田小学校

学習支援活動（余暇支援）

【活動】

特別支援学級 余暇支援「キャンドル製作体験」

活動概要	▼特別支援学級の余暇支援として、児童はキャンドル製作に取り組み、色や形を工夫しながら自分だけのキャンドルづくり、ものづくりの喜びを味わうとともに、キャンドルの扱い方や安全面についても学ぶ機会とする。
活動のねらい	▼キャンドルづくりを通して、ものを作ることの楽しさや喜びを体験するとともに、キャンドルの安全な使い方や災害時の活用について理解を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼児童はキャンドルづくりを通してものづくりの楽しさを知り、作品を完成させた達成感を味わうとともに、正しい使い方を学び、災害時に役立つ知識を得ることができた。



キャンドルづくりの様子

主催：亀田小 CS

1

活動日・場所

令和7年12月16日（火）、
18日（木） 亀田小学校

2

活動した子ども

特別支援学級児童 32名

3

関係者等

地域コーディネーター、
亀田小教諭

②③ 東山小学校

学校支援活動（職業体験）

【活動】

職業体験

活動概要	▼ 6年生の職業体験として、学校の近隣の銀行や飲食店等の企業の協力を得て、見学だけでなく、実際の仕事の一部を体験したことで、より実践に近い職業体験をする。
活動のねらい	▼ 身近にある企業を訪問し、その仕事の一部を実際に体験することで、児童が将来の仕事により具体的にイメージする一助となることを目的とする。
活動の成果など	▼ 児童は職場体験を通して、今まで知らなかった分野の仕事にも興味を持つことができたとともに、将来の仕事についてイメージする一助となった。



飲食店での職業体験の様子

主催：東山小 CS

1

活動日・場所

令和7年11月10日（月）、
12日（水）、19日（火）
東山小学校近隣企業等

2

活動した子ども

東山小6年生 64名

3

地域住民等

地域協力企業（銀行、飲食店、幼稚園、スーパー、小売店、フィットネス、消防署）
計8社、東山小学習ボランティア 計8名

②④ 中部小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「みんなのふれあい広場～みんなで遊防祭～」

活動概要	▼ PTA や町会等で組織する中部カフェ企画委員会が中心となり、子どもたちを含む中部小学校区の地域住民全体で、楽しみながら防災について学ぶ機会を創出する。
活動のねらい	▼ 子どもたちが地域住民と触れ合いながら段ボールベッドや新聞スリッパ作りを体験し、交流を深めるとともに、防災への関心や意識を高めることを目的とする。
活動の成果など	▼ 子どもたちは各ブースでの防災体験を通して楽しみながら防災への関心を高められたほか、地域住民との交流が深まり、地域全体で防災意識を高める機会となった。



「みんなのふれあい広場」の様子

主催：中部小学校区みんなのケア会議

1

活動日・場所

令和7年11月9日（日）
中部小学校 体育館

2

活動した子ども

中部小児童等 50名
（校区内在住幼児・中学生含む）

3

地域住民等

中部カフェ企画委員会、PTA、第4方面民児協、各町会、福祉事業所、自衛隊、警察等 計155名

【活動】

介護予防カルタづくり

活動概要	▼深堀中学校生徒会が中心となり、交流のある深駒町会の高齢者に向けて介護予防カルタを企画・製作し、詐欺や熱中症、転倒予防の内容を盛り込み、茶話会の場で寄贈した。
活動のねらい	▼生徒が地域に目を向け、高齢者や町会役員との交流を通して郷土への愛着を育み、地域に貢献できることを実感することで自己肯定感の向上につなげることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒たちは、自分たちで企画・準備した活動が町会や地域の高齢者に喜ばれ、感謝の言葉をもらう経験を通して自己有用感が高まり、地域貢献への意欲や郷土への愛着の向上につながった。



介護予防カルタを楽しむ様子

主催：FK ネット、深堀中



1

活動日・場所

令和7年12月3日（水）
深駒町会館

2

活動した子ども

深堀中生徒 8名
（生徒会）

3

地域住民等

深駒町会・地域住民 25名、
深堀中教員 2名

令和 8 年度 函館市地域学校協働活動推進事業に係る予算の執行基準等 について

1 予算配当額

各地域コーディネーターの担当校 1 校あたり 15,000 円
(2 校 : 30,000 円, 3 校 : 45,000 円, 4 校 : 60,000 円)

2 執行基準

(1) 対象経費

地域コーディネーターを通じて企画・実施される地域学校協働活動に要する消耗品費および講師謝礼金を対象経費とします。

なお、国の補助金（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）を活用した事業であるため、当該補助金の対象外経費（飲食物費、交際費等）については、本市においても対象外としています。

(2) 消耗品費について

税込単価が 10,000 円未満の物品を対象とします。

(3) 講師謝礼金について

謝礼金の額は、市の予算積算基準に基づき 1 時間あたり 9,000 円を上限とし、講演等の所要時間や講師の社会的地位等を考慮して、任意に設定できるものとします。（例① : $9,000 \text{ 円} \times 1.5 \text{ 時間} \times 1 \text{ 名} = 13,500 \text{ 円}$, 例② : $3,000 \text{ 円} \times 1 \text{ 時間} \times 4 \text{ 名} = 12,000 \text{ 円}$, 例③ : $2,500 \text{ 円} \times 2 \text{ 時間} \times 3 \text{ 名} = 15,000 \text{ 円}$ ）

なお、講師（個人）への謝礼金の支給にあたっては、所得税および復興特別所得税を源泉徴収（税率 10.21%）した額を支給します。

3 実施計画書等の提出について

地域学校協働活動の実施にあたっては、「函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書・実績報告書」を提出いただくこととしていますが、消耗品費または講師謝礼金の予算執行を伴う活動の場合は、下記にご留意ください。

(1) 消耗品費

地域学校協働活動の実施にあたり購入したい物品がある場合は、「函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書」の記載例を参考に、物品名、型番、数量、単価等の必要事項を記入の上、実施予定日の 1 か月前までに市教委（教育政策課）にご提出ください。

また、当該活動の実施後、1 か月以内に実績報告書をご提出ください。

(2) 講師謝礼金

地域学校協働活動（外部人材を活用した教育活動）の実施にあたり講師謝礼金を支給したい場合は、「函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書」の記載例を参考に、講師名、講演等の所要時間、所要額等の必要事項を記入し、実施予定日の 1 か月前までに、下記①および②の書類を市教委（教育政策課）にご提出ください。市教委において内容や予算の執行状況を確認の上、承認または不承認について連絡いたします。

市教委から承認の連絡があったときは、下記②の講師あて依頼文書に日付けを記入し、正式に依頼してください。

また、当該依頼について、講師の受諾が得られたときは、別紙の作成例を参考に、講師謝礼金の支払手続に伴う必要書類の提出について依頼してください。

当該活動の実施後は、速やかに下記③～⑧の書類を市教委（教育政策課）にご提出ください。

■実施予定日の 1 か月前までに提出する書類

①「函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書」

②講師あて依頼文書（案）

※別紙の作成例を参考に日付け空欄で作成し、市教委から承認の連絡があるまでは依頼先に発送しないようご注意ください。

■講師あてに送付する書類

③講師あて依頼文書（②の日付け入り）

※市教委から承認の連絡を受けてから送付してください。

④〇〇〇〇に係る講師謝礼金の支払手続に伴う必要書類の提出について（お願い）

※講師の方に依頼する際は、下記⑦および⑨の様式と記載例等を添付してください。

■活動の実施後、速やかに提出する書類

⑤「函館市地域学校協働活動推進事業 実績報告書」

⑥講師あて依頼文書（③）の写し

⑦口座振込依頼書

⑧金融機関名、支店名、口座名義、口座番号が確認できる書類（通帳等の写し）

⑨「個人番号確認票」

⑩「マイナンバーカードの写し」または「通知カードの写し」

※⑨および⑩については、マイナンバー等の個人情報を含む書類であるため、学校メール便や郵送でのご提出はお控えください。ご提出にあたりましては、市教委（教育政策課）へご持参いただくなど、直接手渡しでお願いいたします。

※依頼先（債権者）が法人の場合は、⑨および⑩の提出は不要です。（法人への謝礼金は事業収入の扱いとなり、当該法人の確定申告により納税されます。）

実施計画書(物品購入の場合)

記載例

令和 年 月 日

令和〇年度 函館市地域学校協働活動推進事業 **実施計画書**・実績報告書

活動名	包括支援センターあさひ祭り
企画・立案者	地域コーディネーター 〇〇 〇〇〇
実施校	青柳中学校・弥生小学校・青柳小学校・あさひ小学校
活動の目的・内容	(概要) ※60～80字程度 中学校区内にある包括支援センターでの祭りのポスターをあさひ小校区放課後児童クラブと青柳中美術部が作成し、当日の運営を青柳中の生徒がボランティアとして手伝う。 (目的) ※60～80字程度 青柳中の生徒たちが自分たちの住む地域に目を向け、持てる力を発揮し地域のために役立とうとする「豊かな心」の育成を目的としている。 (期待される効果) ※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感を高める。
主催・共催	主催： 青柳ネット（青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小合同 CS） 共催： 包括支援センターあさひ
実施予定日時	令和5年9月16日（土）
実施予定場所	包括支援センターあさひ
従事者の予定人数	約10名
本事業に必要な経費（内訳）	（項目） ・ ちらし用紙 PPC 用紙 A4 ※年契品 2箱（500枚×5冊） @2,150×2×1.1=4,730 ・ キヤノンインクカートリッジ BCI-381 6色マルチパック 1箱 https://store.canon.jp/online/g/g2344C002/ @6,763×1×1.1=7,440 （概算額）12,170 円
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともに提出ください。	
活動の成果	（活動の成果）※60～80字程度
活動に参加した子ども	・ 〇〇学校 〇年生 〇名 ・ 〇〇幼稚園 〇名
活動に参加した地域住民等	・ 〇〇センター職員 〇名 ・ 〇〇町会 〇名
町会との連携	有 ・ 無
写真のクレジット	

購入希望の物品がある場合はご記入願います。

※購入希望品の URL や型番を記載
※年契品は学校がよく使う事務用品等リストに掲載の物品です。

（型番不要、早めに届きます。）

実績報告書(物品購入の場合)

記載例

令和 年 月 日

令和〇年度 函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書 実績報告書

活動名	包括支援センターあさひ祭り
企画・立案者	地域コーディネーター ○○ ○○○
実施校	青柳中学校・弥生小学校・青柳小学
活動の目的・内容	(概要) ※60～80字程度 中学校区内にある包括支援センターでの祭りのポスターをあさひ小校区放課後児童クラブと青柳中美術部が作成し、当日の運営を青柳中の生徒がボランティアとして手伝う。 (目的) ※60～80字程度 青柳中の生徒たちが自分たちの住む地域に目を向け、持てる力を発揮し地域のために役立とうとする「豊かな心」の育成を目的としている。 (期待される効果) ※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感を高める。
主催・共催	主催：青柳ネット（青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小合同CS） 共催：包括支援センターあさひ
実施予定日時	令和5年9月16日（土）
実施予定場所	包括支援センターあさひ
従事者の予定人数	約10名
本事業に必要な経費（内訳）	（項目） ・ ちらし用紙 PPC用紙 A4 ※年契品 2箱（500枚×5冊） @2,150×2×1.1=4,730 ・ キヤノンインクカートリッジ BCI-381 6色マルチパック 1箱 https://store.canon.jp/online/g/g2344C002/ @6,763×1×1.1=7,440 （概算額）12,170円
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともにご提出ください。	
活動の成果	（活動の成果）※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感が高まった。
活動に参加した子ども	・ 青柳中生徒8名（運営ボランティア）、ポスター作製（美術部）〇名 ・ あさひ小校区内放課後児童クラブ〇名
活動に参加した地域住民等	・ 地域包括支援センター職員 約10名
町会との連携	有 ・ 無
写真のクレジット	包括支援センターあさひ祭りの様子

実施計画書をそのまま活用し、
実績報告書に○をしてください

色付きの部分だけ追記

実施計画書(講師謝礼の場合)

令和 年 月 日

令和〇年度 函館市地域学校協働活動推進事業 **実施計画書・実績報告書**

活動名	〇〇中学校 CS 社会人講話	
企画・立案者	地域コーディネーター 〇〇 〇〇〇	
実施校	〇〇中学校	
活動の目的・内容	(概要) ※60～80字程度 〇年生を対象に、地域で活躍する様々な職種の社会人を講師として招き、働くことの意義や社会貢献について講話を行う。 (目的) ※60～80字程度 生徒が、地元で活躍する大人から、社会人としての生き方や考え方について直接講話を聴くことにより、自身の将来の進路について考えるきっかけを与える。 (期待される効果) ※60～80字程度 生徒は講話を通して、講師から働くことの楽しさや難しさを学ぶことができ、今後どのような大人になりたいのか、将来の進路に対して具体的にイメージを持つことができる。	
主催・共催	主催：〇〇中学校 CS 共催：	謝礼金の額は、1時間あたり9,000円を上限とし、講演等の所要時間や講師の社会的地位等を考慮して、任意に設定可能です。 ※講師(個人)への謝礼支給にあたっては、所得税および復興特別所得税を源泉徴収(税率10.21%)した額を支給します。
実施予定日時	令和〇年〇月〇〇日(〇)	
実施予定場所	〇〇中学校	
従事者の予定人数	〇人程度	
本事業に必要な講師謝礼金(内訳)	例1) @9,000円×1.5時間×1名=13,500円 例2) @3,000円×1時間×4名=12,000円 例3) @2,500円×2時間×3名=15,000円	
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともにご提出ください。		
活動の成果	(活動の成果) ※60～80字程度	
活動に参加した子ども	・ 〇〇中学校 〇年生 〇〇名	
活動に参加した地域住民等		
町会との連携	有 ・ 無	
写真のクレジット		

実績報告書(講師謝礼の場合)

令和 年 月 日

令和〇年度 函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書 **実績報告書**

活動名	〇〇中学校 CS 社会人講話	
企画・立案者	地域コーディネーター 〇〇 〇〇〇	
実施校	〇〇中学校	
活動の目的・内容	(概要) ※60～80字程度 〇年生を対象に、地域で活躍する様々な職種の社会人を講師として招き、働くことの意義や社会貢献について講話を行う。 (目的) ※60～80字程度 生徒が、地元で活躍する大人から、社会人としての生き方や考え方について直接講話を聴くことにより、自身の将来の進路について考えるきっかけを与える。 (期待される効果) ※60～80字程度 生徒は講話を通して、講師から働くことの楽しさや難しさを学ぶことができ、今後どのような大人になりたいのか、将来の進路に対して具体的にイメージを持つことができる。	
主催・共催	主催：〇〇中学校 CS 共催：	
実施予定日時	令和〇年〇月〇〇日(〇)	
実施予定場所	〇〇中学校	
従事者の予定人数	〇人程度	色付きの部分だけ追記
本事業に必要な講師謝礼金(内訳)	@3,000円×1時間×4名=12,000円	
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともにご提出ください。		
活動の成果	(活動の成果) ※60～80字程度 講師から働くことの楽しさや難しさを学ぶことができ、今後どのような大人になりたいのか、将来の進路に対して具体的にイメージを持つことができた。	
活動に参加した子ども	・ 〇〇中学校 〇年生 〇〇名	
活動に参加した地域住民等		
町会との連携	有 ・ 無	
写真のクレジット		

(講師依頼文の作成例：個人の場合)

令和 年 月 日

〇〇 〇〇 様

函館市地域学校協働活動推進事業

地域コーディネーター 〇〇 〇〇

函館市立〇〇中学校長 〇〇 〇〇

〇〇〇〇講話の講師について (お願い)

〇〇の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、地域学校協働活動の一環として、地域の皆様のお力をお借りしながら、生徒が地域社会とのつながりを実感し、多様な生き方や働き方について学ぶことができる教育活動に取り組んでおります。

このたび、その取組の一つとして、下記のとおり〇〇〇〇講話を開催したいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、これまでのご経験やお仕事のこと、働くことへの思いなどについて、生徒たちにお話しただけでしたら大変ありがたく存じます。

生徒にとりまして、地域で活躍されている方から直接お話を伺うことは、将来について考える大変貴重な機会になるものと考えております。

本取組みの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
- 2 会場 函館市立〇〇中学校 〇階 〇〇教室
- 3 対象 〇学年生徒 〇〇名
- 4 内容 これまでのご経験、現在のお仕事の内容、仕事のやりがい、中学生へのメッセージなど
- 5 謝礼 講師をお務めいただいた場合には、謝礼として〇〇〇〇円をお支払いいたします。
- 6 その他
 - ・ 当日の詳細につきましては、後日あらためてご相談させていただきます。
 - ・ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】

函館市立〇〇中学校 地域コーディネーター 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

メール @

(講師依頼文の作成例：法人の場合)

令和 年 月 日

株式会社〇〇〇〇
代表取締役〇〇 〇〇 様

函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター 〇〇 〇〇
函館市立〇〇中学校長 〇〇 〇〇

〇〇〇〇講話へのご協力について（お願い）

〇〇の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本校では、地域学校協働活動の一環として、地域の皆様や関係機関・団体のお力をお借りしながら、生徒が地域社会とのつながりを実感し、多様な生き方や働き方について学ぶことができる教育活動に取り組んでおります。

このたび、その取組の一つとして、下記のとおり〇〇〇〇講話を開催したいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴社社員の皆様（もしくは貴社〇〇〇部〇〇〇〇様）から、業務の内容や仕事のやりがい、働くことへの思いなどについて、本校生徒にお話しいただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

生徒にとりまして、地域で活躍されている企業・団体の皆様から直接お話を伺うことは、将来について考える大変貴重な機会になるものと考えております。

本取組みの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和〇年〇月〇日（〇） 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分
- 2 会場 函館市立〇〇中学校 〇階 〇〇教室
- 3 対象 〇学年生徒 〇〇名
- 4 内容 業務の概要、仕事のやりがい、働く上で大切にしていること、中学生へのメッセージ など
- 5 謝礼 講師をお務めいただいた場合には、謝礼として〇〇〇〇円をお支払いいたします。
- 6 その他
 - ・ 当日の詳細につきましては、後日あらためてご相談させていただきます。
 - ・ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】

函館市立〇〇中学校 地域コーディネーター 〇〇 〇〇
電話 〇〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇
メール @

(謝礼金支払関係書類の提出依頼文の作成例：個人の場合)

令和 年 月 日

〇〇 〇〇 様

函館市地域学校協働活動推進事業

地域コーディネーター 〇〇 〇〇

函館市立〇〇中学校長 〇〇 〇〇

〇〇〇〇に係る講師謝礼金の支払手続に伴う必要書類の提出について
(お願い)

〇〇の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは、本校の地域学校協働活動における〇〇〇〇講話の講師をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

さて、講師謝礼金のお支払に当たり、事務手続上、必要書類をご提出いただく必要がございます。

つきましては、誠にお手数をおかけいたしますが、下記書類をご準備の上、令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)までにご提出くださいますようお願い申し上げます。

記

1 提出書類

- (1) 口座振込依頼書
- (2) 通帳等の写し(金融機関名、支店名、口座名義、口座番号が確認できる部分)
- (3) 個人番号確認票
- (4) 「マイナンバーカードの写し」または「通知カードの写し」

2 提出方法

別紙記載例を参考に上記書類をご用意の上、〇〇〇〇講話の当日にご持参ください。

3 その他

- (1) ご提出いただいた書類は、講師謝礼金の支払および所得税等の源泉徴収事務以外の目的には使用いたしません。
- (2) ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先・送付先】

函館市立〇〇中学校 地域コーディネーター 〇〇 〇〇

学校所在地 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 函館市〇〇町〇〇番〇〇号

電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

メール @

(謝礼金支払関係書類の提出依頼文の作成例：法人の場合)

令和 年 月 日

株式会社〇〇〇〇
代表取締役〇〇 〇〇 様

函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター 〇〇 〇〇
函館市立〇〇中学校長 〇〇 〇〇

〇〇〇〇に係る講師謝礼金の支払手続に伴う必要書類の提出について
(お願い)

〇〇の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは、本校の地域学校協働活動における〇〇〇〇講話の講師をお引き受けいただき、誠にありがとうございます。

さて、講師謝礼金のお支払に当たり、事務手続上、必要書類をご提出いただく必要がございます。

つきましては、誠にお手数をおかけいたしますが、下記書類をご準備の上、令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇)までにご提出くださいますようお願い申し上げます。

記

1 提出書類

口座振込依頼書(貴社名義の口座をご指定下さい。)

2 提出方法

〇〇中学校(〇〇〇〇)にご持参いただくか、または下記送付先へご提出ください。

3 その他

(1) ご提出いただいた書類は、講師謝礼金の支払事務以外の目的には使用いたしません。

(2) ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先・送付先】

函館市立〇〇中学校 地域コーディネーター 〇〇 〇〇
学校所在地 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 函館市〇〇町〇〇番〇〇号
電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール@.